

🏆 平成30年度山口県選奨 (産業功労)



石山 克之氏（石山建設㈱代表取締役・山口支部）



中本 吉昭氏（㈱藤村組副社長・岩国支部）

平成30年11月19日、山口県選奨（※）の選奨式が県庁にて行われ、55個人5団体がその功績をたたえられました。

式典では、村岡嗣政山口県知事から「様々な分野において卓越した見識と行動力で、地域の発展に指導的な役割を果たされた。さらに各分野で活躍されるとともに、その経験を若い世代に伝え、人材の育成にも役立てて下さい。」とお祝いの言葉が述べられました。その後、知事自ら一人ひとりに声をかけながら、選奨状を手渡しました。

本協会からは、石山建設㈱（山口支部）の石山克之氏（前山口支部長）と、㈱藤村組（岩国支部）の中本吉昭氏（平成14年建設マスター）が「産業功労」として受賞されました。



🔍 山口県選奨とは

山口県選奨は、県民の福祉の増進に関し、顕著な功績があった個人または団体に對して贈られるもの。

自治、芸術・文化・スポーツ、社会福祉、社会活動、教育、保健衛生・環境、産業の7分野に分けて表彰されます。

🏆 優秀施工者（建設マスター） 国土交通大臣顕彰



平成30年度 優秀施工者（左から）

東 隆文氏（㈲大島土木：㈱高須組推薦）
荒堀 年郎氏（㈲二葉建設：成長建設㈱推薦）
前田 典男氏（安藤建設㈱推薦）

平成30年10月5日、東京都のメルパルクホールで開催された「平成30年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典」において、建設マスター（※）422名と建設ジュニアマスター101名の授与式が行われました。

本協会では山口県土木建築部と共に、毎年秋に「山口県優良工事表彰」を受賞された会員企業を対象に候補者の推薦を行っており、平成30年度については上記の3名が顕彰されました。

式典では、石井啓一国土交通大臣より「建設産業は住宅や社会資本の整備、災害対応など重要な役割を担っており、人の技術・技能に支えられている産業である。国土交通省としては、平成30年3月に建設業働き方改革加速化プログラムを策定しており、今後とも次世代への継承のため、技能労働者の方々に労働環境を含めた処遇改善に注力していきたい。」と挨拶がありました。



🔍 建設マスターとは

建設マスター制度は、建設現場において工事施工に直接従事し、優秀な技能・技術を有する建設技能者を「優秀施工者」として国土交通大臣が顕彰するもので、平成4年度に創設されました。

また「建設ジュニアマスター」は、現場経験10年以上、39歳以下の若手を対象としており、建設業界の喫緊の課題である若年入職促進活動の一環として、平成27年度に創設されました。

🏆 「建設業社会貢献活動功労者表彰」を萩支部が受賞！



光藤事務局長（萩支部）

平成30年7月20日、（一社）全国建設業協会（全建）による、第13回「建設業社会貢献活動推進月間（※）中央行事」が東京都の経団連会館において開催されました。

冒頭、近藤晴貞全建会長から「平成30年7月豪雨災害では、各県建設業協会の皆様が連日の猛暑の中、応急復旧作業に当たられていることに深く敬意を表する。地域建設業には社会基盤の整備と維持管理のほか、災害などの緊急時に行政機関と共に応急復旧を行うなど、地域の安全・安心を確保するという役割が期待されている。こうした活動を国民・社会の皆さんにきちんと理解して頂きたい。」と挨拶がありました。

その後、災害復旧支援活動や環境美化活動など7つの部門毎に受賞式が行われ、全国で23の協会、29社の会員企業が受賞。本協会については、萩支部が平成6年より毎年7月に萩市内の河川や海岸清掃を実施してきた実績が認められ、「環境美化活動」部門での受賞となりました。



🔍 建設業社会貢献活動推進月間とは

（一社）全国建設業協会では、地域の建設業が行っている社会貢献活動を国民に正しく理解・認識してもらうために、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定めています。

月間中には各県建設業協会は会員企業と連携して、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しています。